

開講学期 Semester	S1S2
開講時限 Period	水曜3限 Wed 3rd
単位数 Credits	2
学年 Academic Year	M1 M2 D1 D2 D3 D4
他学部聴講 Open to other faculties	可 YES
教室 Classroom	未定
授業使用言語 Language in Lecture	日本語 Japanese
講義題目 Title	論文作成のためのデジタルアーカイブ
授業計画 Schedule	<p><第Ⅰ部：論文作成のためのデジタルアーカイブ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1.イントロダクション（授業の概要、目的、評価方法などの説明） 2.論文作成の基本 3.歴史資料などの取扱い 4.ディスカッション 5.フィールドワークなどで得られた映像の取扱い 6.画像・映像・音声などの資料の取扱い 7.メタデータ、参考文献目録の表記方法 8.著作権等の権利処理（1）理論編 9.著作権等の権利処理（2）実践編 10.情報検索、OCRの現状 <p><第Ⅱ部：デジタルアーカイブ最前線></p> <ol style="list-style-type: none"> 11.デジタルアーカイブの産業論 12.デジタルアーカイブのネットワーク論 13.デジタルアーカイブのシステム論 14.まとめ
授業の方法 Teaching Methods	講義、質疑応答、レスポンスシートへの記入
成績評価方法 Method of Evaluation	平常点（出席回数、質疑応答などへの参加度、およびレスポンスシートの提出回数と内容の充実度などから総合的に判断する）。
教科書 Required Textbook	プリントを配布する予定。
参考書 Reference Books	<p>柳与志夫『入門デジタルアーカイブ』勉誠出版、2017年</p> <p>時実象一『デジタル・アーカイブ最前線』講談社ブルーバックス、2015年</p> <p>NPO知的資源イニシアティブ編『デジタル文化資源の活用 地域の記憶とアーカイブ』勉誠出版、2011年</p> <p>NPO知的資源イニシアティブ編『アーカイブのつくりかた 構築と活用入門』勉誠出版、2012年</p> <p>NPO知的資源イニシアティブ編『これからのアーキビスト デジタル時代の人材育成』勉誠出版、2014年</p> <p>福井健策・吉見俊哉監修『アーカイブ立国宣言』ポット出版、2014年</p> <p>岡本真・柳与志夫責任編集『デジタル・アーカイブとは何か 理論と実践』勉誠出版、2015年</p> <p>渡邊英徳『データを紡いで社会につなぐ デジタルアーカイブのつくり方』講談社現代新書、2013年</p> <p>亀山涉監修『デジタル・コンテンツ流通教科書（インプレス標準教科書シリーズ）』インプレスR&D、2006年</p> <p>今井英樹ほか『ユビキタス時代の著作権管理技術—DRMとコンテンツ流通』東京電機大学出版局、2006年10月</p>
履修上の注意 Notes on Taking the Course	授業の概要や評価方法について詳細な説明を行うため、履修希望者は第一回の授業に必ず出席すること。授業計画は進行状況によって変更することがありうる。
その他 Others	授業履修者には、専用ブックスキャナの授業時間外利用が認められる。